

いのちの尊さと生きる喜びを感じ、共に生き、共に育ちあう

私たち一人ひとは、ここに誕生しているだけで、とても尊い存在なのです。かけがえのないとは、そのままのあなたが、そこにいて大事だという事だと思います。人として大きく成長する中で、とても大切なこの乳・幼児期に、共に育ち合う場が保育園にあります。子どもたち一人ひとりが、自分の存在と同時に他の人の存在をも大切にできる人として育ててほしいという願いを保育の中に繋げていきたいと考えています。

《子どもを真ん中》という言葉大切に保育園と家庭が繋がれる園作りを目指していきたいと思います。

園長 武宮 暢哉